

「フリーターキング・要約」

問（亀高） 町の行政姿勢について伺います。

答 これまで旧仁多町では、自治会長会研修によって得たものを町政に反映されてきました。なぜ、研修が中止になったのかを考えれば、町の職員も自らの給与をカットし、町民と痛みを分かち合うべきではないでしょうか。

問（布勢）新町は合併して多額の債務があり、長期的に返済する計画が立てられていないでしょうか。

答 自治会長会研修は、これまで行政執行上、有意義な研修でありましたが、合併後多くの支出が見込まれ、やむなく中止させていただきました。町職員の給与カットについては、労使間の合意が必要であり、一般職員については実施できていない状況です。現在のところ議員約五割、町長十五割、副町長・教育長十割、職員のうち管理職五割の報酬・給料のカットを実施していますが、職員組合とできるだけ早く交渉に入りたいと考えています。

問（三成） 消防団の組織編成について、高齢化はもとより若者の絶対数がない中、現在の部を再編すべきと考えます。また、仁多地域、横田地域の各部の団員数も違いますので、団員数の一元化を図り、地域の世帯数に応じて団員を募る方法を検討いただきたい。

また、消防団員は現場で活躍しており、消防署員との比較ではないが団員確保のため

すが、僅かなものをカットし、大きなものを減じていない。民間はもっと厳しいので職員給与についても、誠心誠意対応してもらいたい。
また、社会保険庁の年金記録問題について、町ではきちんとその当時のデータが残っているか。

答 町の人件費は、財政支出の中で大きなウエイトを占めています。ご指摘の給与カットについては、ほとんどの職員は理解していますが、実施にあたっては、労使間の合意が必要で、労使での給料調整が出来次第、組合と交渉に入ります。

なお、第三セクターの補助金についても、大きな財政負担となっていますので、経営の健全化に向けて検討し、改善を進めているところです。今後、財政調整積立金等で借入金返済し、補助金と有利な起債を導入し、事業の実施にあたっては、健全な財政運営に努めて参ります。

また、年金問題は、国の責任で処理されますが、旧仁多、旧横田両町の原簿はきちんと残っています。

問（三成） 自治会へ配布される広報等については、町の配布物のほかに、各種団体からの配布物も非常に多く、自治会の負担となっています。情報網も整備され、小さな活字を見なくても、情報のテレビで概ね視聴でき、町広報や議会広報を再度掲載されています。検討されてはいかがでしょうか。

答 町広報、議会広報をはじめ公的団体からの様々な配布があり、各自治会にはお手数をおかけしていますが、ご指摘いただきましたので、今後議会、各種団体と協議し検討いたします。

問（三成） 消防団の組織編成について、高齢化はもとより若者の絶対数がない中、現在の部を再編すべきと考えます。また、仁多地域、横田地域の各部の団員数も違いますので、団員数の一元化を図り、地域の世帯数に応じて団員を募る方法を検討いただきたい。

また、消防団員は現場で活躍しており、消防署員との比較ではないが団員確保のため

にも報酬の改善が必要ではないか。

答 現在消防団員は、奥出雲町全体で六百二十七人、定数と比べると四十人余りの欠員となっています。各部の団員確保については、地区、自治会を対象者の数が違うと思いますが、例えば消防団の部単位で構成している団員の確保については、厳しい状況で、議会をはじめ、自治会長会、消防団の皆さんと協議して参ります。

横田地域

（鳥上地区）

問 船通山の頂上にある避難小屋、トイレが老朽しており整備を要望します。

答 国定公園地内であり、島根県に避難小屋の改修・設置を要望しています。但しトイレの設置については、汚物の処理方法が確立しておらず、早急な設置は困難です。
（地域振興課）

問 開発農地での特区を利用した施策やバイオエタノールに端を発した世界的な食糧問題等を見据えた施策（有望な作物）の可能性について伺います。

答 現在、農外企業への農地の貸付事業を実施しており、開発地全体の約一割の面積を利用いただいています。
また、野呂山（横田一団地）の開発地には、高糖度トマトの周年栽培を行う大型施設園芸の誘致を行ったところです。今後新規参入企業の受入れと、規模拡大志向の農家及び企業に対して積極的に農地の有効活用を促す考えです。
次に、バイオ燃料の普及に伴う世界的な食糧問題については、特に畜産に対する打撃は大きく、飼料作物の価格が高騰し、農家経営の圧迫が懸念されています。
そこで粗飼料の町内自給率を高める方策の一つとして、今年度参入企業で六割の牧草を栽培していただいているところであり、その結果を見て飼料作物生産組織の結成も考えたいと思います。
（農業振興課）

（八川地区）

問 八川地区運動公園に管理棟、水洗トイレの設置をお願いしたい。

答 現在、緊急度の高いものから行政対応し、学校、集会施設、道路など多くの事業に着手しています。
ご指摘の管理棟、トイレの改修が急がれますが、健全財政を堅持しながら事業実施しておりますので出来るだけ早く対応出来るよう検討します。
（建設課）

問 八川地区における情報格差解消のため携帯電話の通話地域の拡大整備を

答 町内の携帯電話の不感地域解消につきましては、これまで各携帯電話事業者に対し、铁塔整備の要望を続けて参りました。

その結果、NTTドコモにおいては、既に二カ所が開局、「奥八川」他二カ所で建設が決定し、ソフトバンクにおいては、「奥八川地区内二カ所」、「八川本郷」など計十カ所において、開局準備並びに建設が決定したところです。



横田会場の様子

問 古紙の回収場所が地区で一箇所（鳥上コミセン）になり、高齢者の方や車等の運搬手段のない方は持ち出しに苦慮している状況です。回収場所を従来どおりにすることはできないでしょうか。

答 横田地域の古紙回収はこれまで年三回、細かく集会所単位に収集しており、一回ごとの量が多く、また収集場所も多く回収が遅れ公会堂の使用に影響が出るなど、改善の要望がありました。

（横田地区）

問 火災は初期消火が重要であることから水利の便の悪いところには是非とも地下タンク等の施設を要望いたします。

答 鳥上・横田地区は消防防災施設整備事業で防火水槽の追加要望を行い、平成十九年度追加採択の見込みとなりました。補助が決定次第、地元との調整を行い、防火水槽の新設を進める考えです。
（総務課）

問 奥出雲町も高齢者社会を迎え、地域でも一人暮らし家庭が増え、健康面での不安が増しております。
健康エックのため保健師の巡回を充実し、安心、安全な生活が出来るよう保健行政の推進を要望します。

答 本年四月一日から横田地域でも仁多地域同様に年六回、七カ所で回収することとしたところ、ご理解、ご協力をお願いします。
（町民課）

（健康福祉課）

問 勤め人の家庭が増え、日曜日の持ちこみが出来ず苦慮されている家庭が数多くあると思います。是非とも二ヶ月に一回でも日曜日持ちこみが出来るように要望します。

答 クリーンセンター（不燃物処理場）への持ち込みについては、七月から第一日曜日（午前九時～十一時）の持ち込みが出来るよう改めました。
（町民課）